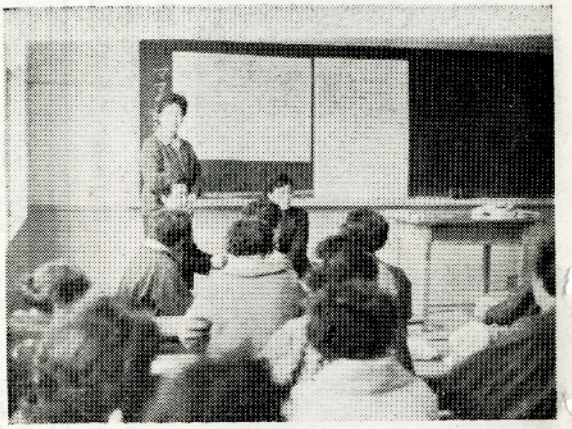
広報
さめがわ

第114号
昭和38年
3月1日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



ママの講座

よい子を育てましょうと今年も青年研修所でママの講座が開かれ、子供の栄養や看護について熱心な研修が行なわれました。



まされる宝子にしかめやも―と万葉の昔からうたわれるように子供こそわが家のたから、わが村のたから。
すこやかに立派に育てましょう。
若いママさんたちの真剣なひとみ……

早春

まれに粉雪のふきかけることはあっても、陽ざしの明るさ、日の長さに春の気配を感じます。

今年は部落懇談会や研修集会が盛んに開かれ、新しい年への意欲がもり上ってきたようです。

営農の技術面でも、社会生活の面でも、正しい方向を目ざして、互に協力しながらたくましい前進を期待したいものです。

そろそろ春の農作業の準備を初めましょう。農具機械の手入れ、種子、肥料の用意など手おちなく進めましょう。

2月の人口と世帯

人口	7.858（+2）
男	3.894（−4）
女	3.964（+6）
世帯数	1.255（+6）

新らしい農業

地域条件を生かした和牛の飼養

畜産が農業の生長部門として期待が寄せられている事はいうまでもない。特に酪農、養豚、養鶏の三部門については、ここ数年めざましく発展した。

しかしながらこれらについては経営上幾多の問題がある。

ここで酪農について例をとつても、土地条件或は経済的条件に恵まれた地域、或は農家に於ては成功しているが、それ以外の大部分は飼料価格と乳価との関係、労力の問題等畜産価格安定の措置がとられているとはいい解決は容易ではない。それは濃厚飼料に依存し、労力を必要とする養豚、養鶏についても当然といえる。

計画的な飼養を

家畜さえ入れれば直接収益が上ると考へて居る農家が少なからずあつたのではなかろうか。要するに畜産と直接収益に結びつけようとせず、家畜をとり入れることにより、その土地なり或はその土地で営なまれる他のいろいろの生産手段と合理的に関連し、家畜による生産収益が高まる事が望ましいのである。こう考えると家畜の種類或は能力等によりおのずと飼養限度がきまり、そのあり方がきまつてくるのであり、無計画に多頭飼育が良い結果を生むものではない。

しかし当村を考えた場合、山地帯の典型的なものであり草資源には非常に恵まれている。これを有効に牧野とし利用するならば、飼料の八〇%自給は決して困難なことではなく、飼養頭数の規模の拡大が図られ、省力飼養管理が可能になろう。

和牛の利点

『畜産が農業の生長部門で、あるといわれるのはいつたいどんなところからなのかと云う事である』

この村のような地勢の山地帯に設けられた放牧場で堪え得る家畜、又そこで出来た草資源の利用で自給率八〇%にまであげ得る家畜、そして農繁農閑時に応じて飼養管理作業ができ、高度の技術も必要とせず、しかもその結果食肉需要の要請に応える事の出来る家畜。それは和牛をのぞいては他にないと云つても過言ではなかろう。

酪農、養豚、養鶏に次いで和牛と云うものを新しい観点から再度検討が必要ではなかろうか？

（中井光徳）



集落振興計画で導入された中沢部落の和牛は四十二頭全部そろつて検査をうけた



部落公民館の前に集まつた飼育者たちは明るい表情で多頭飼育の希望を語りあう



広島県産の和牛は晩生だといわれる形こそちいさいがみごとな体型に感服する



獣医さんが精密に検査してこまかな注意。若い奥さんが頭をなでている

青年学級生徒募集

青年産業

38年度の学級生を左記により募集しますから該当者はもれなく応募して下さい。

記

1. 実施機関…鮫川村公民館、鮫川村青年研修所
2. 年令…中卒より25才までの男女青年
3. 申込…3月31日までに公民館か研修所に申しこんで下さい。

郷土の産業振興にこうけん

湯座氏ら五氏を表彰

二月二十三日の納税表彰式の席上に於て次の方々が産業功労者として表彰の光栄に浴しました。

養蚕業の功労者

赤坂中野　湯座初男

中野にある村内ただ一ケ所の稚蚕共同飼育所の責任者として永年尽力されました。

自宅は、鮫川村蚕業普及所として提供し、近代桑園を造成するなど、養蚕業の経営改善につとめられ、収繭量も毎年百貫以上の成績を上げ、本村養蚕業の改良発達に尽された功績は多大であります。

葉たばこ耕作の功労者

西山　阿久津春男

父祖以来永年葉たばこを耕作し、昭和三十七年度には面積五反五畝を耕作、量目一二三七キロ、収納代金は五六万三千円（反金一〇万二千）で村内第一位の収益を上げられました。圃地の改良、技術の向上に努めた功績は本村耕作者の首位にあります。

高冷地営農の功労者

青生野　武藤亥一郎

〃　長久保　勲

〃　土手内万吉

この方々は七〇〇メートル以上の高冷地において稲作の改善に尽力され、土地改良、早期育苗等耕種技術の向上に努め、昭和三十七年度において政府売渡米（武藤亥一郎一二八俵、長久保勲一一五俵、土手内万吉一〇五俵）百俵以上の実績を上げ、またこんにやく、和牛などの組合せによる農業所得の向上により、高冷地営農改善の模範を示されました。

村議会だより

二月六日に開かれ次のことが議決されました。

▼議会議員の報酬改正、年額議長六〇、〇〇〇円、副議長五五、〇〇〇円、議員五〇、〇〇〇円

▼村長等の給与改正　村長四五、〇〇〇円、助役三七、〇〇〇円、収入役三五、〇〇〇円、教育長三二、〇〇〇円

▼百三十六万円余の補正予算　地方交付税の増額による財源で、議会議員、特別職の報酬給与増額分と、学校の営繕費等に充当されました。

▼監査委員に北条氏　関根委員の死亡による後任委員として、西野の北条佐四郎氏が選任されました。

▼寄附受納　亡父の遺志により村基本財産に中野の石井政雄氏より金二、〇〇〇円、西山の関根乙夫氏より金五、〇〇〇円、鮫中備品として棚倉町の宮川ラジオ店よりテレビ一台が寄附されました。

ボクもわたしも一年生

（昭和38年度入学者名簿）



四月四日午前十時に村内の各小学校に入学されるお子さんの氏名をお知らせします。（カッコ内は保護者名）

西野小学校

斉藤しげ子（良弥）
石井哲（忠夫）
石井政夫（福一）
石井秋男（光雄）
須藤良夫（金一）
薄葉三郎（貞夫）
西野久雄（義久）
白坂法子（政信）
須藤文子（久）
須藤博文（勇）
石井博（一郎）
石井一三（勝男）
石井一弥（照弥）
白坂由美子（勝）
矢吹弘（栄治）
緑川芳子（多気志）
北条良美（照男）
北条貴枝子（忠夫）
北条恵子（平）
植村ゆみ子（実）
高坂隆（武）
高坂喜一（喜政）
鈴木光徳（正利）
霜田定子（昭之亟）
霜田健二（芳美）
佐藤初代（正男）
舟木武昭（武夫）
斉藤明（定満）
舟木トシエ（芳男）
舟木秋子（忠男）
舟木勝弥（重勝）
石井正一（好美）
増子未光（義美）
佐藤健二（庄市）
山本幸治（治三郎）

（計　三十五名）

西山小学校

生田目幹雄（芳）
鈴木チョ子（勲）
斉藤清治（広勝）
本郷圭子（正）
我妻清（利夫）
水野高（茂市）
関根明（初男）
阿久津春江（好也）
阿久津貞雄（定太郎）
阿久津文男（正男）
阿久津久（達也）
阿久津教子（義郎）
阿久津孝夫（春男）
根本栄正（栄市郎）
須藤幸也（福次郎）
水野春枝（久）
水野清典（清一）
本郷京子（義雄）
水郷いし子（伝）
松本美津子（定雄）
関根伸行（博）
関根幸雄（久翁）
関根誠（正勝）
関根武（七郎）
大竹たみえ（国吉）
国井典子（嘉康）
我妻ミツ子（鉄雄）
関根一男（金二）
関根マチ子（三夫）
千代子（利信）
関根敦子（正治）
関根啓（守）
関根伸慈（昭二）
関根今子（仁市）
関根勝士（義美）
我妻邦夫（隆）
根本稔（清之）

（計　三十七名）

渡瀬小学校

遠藤由起子（光利）
赤坂恵美子（幸一）
平林隆行（直人）
小松みどり（サカイ）
芳賀ミネ子（西郎）
大河内敏夫（福男）
蛭田政信（貫男）
蛭田真理子（一）
蛭田孝子（秀也）
蛭田豊子（覚）
木之内喜美代（喜久雄）
木之内一与（一夫）
木之内正（直吉）
菊地幸男（四郎）
小松洋子（保）
小松幸子（幸次）
小松祐子（操）
緑川ナツエ（高之）
鈴木源太郎（源吾）
芳賀良雄（寛一）
芳賀実（弘）
芳賀早苗（高）
芳賀正次（倉蔵）
蛭田千秋（梅雄）
蛭田ひさ子（辰男）
藤田ヤイ（一郎）
蛭田和子（安雄）
野内次男（佳光）
岩永秀勝（秀一）
長久保清美（ミツイ）
蛭田洋子（操）

（計　三十一名）

～～ 四面につづく ～～

十円玉三つが自転車を守る

- 盗られないようにする
- 自転車ドロをつかまえる
- あなたの自転車を見つける

防犯登録は一台残らず

- 取扱所……各自転車店
- 取付料……三十円

新入生を持つ家庭へ

＝ お父さん、お母さん方に ＝

この春、小学校に入学されるお子さんをお持ちの家庭では、喜びに胸をふくらませて入学式をお待ちのことでしょう。

さて入学の準備としてどのようなことをすればよいか考えてみましょう。入学というとランドセルとか学用品の準備が、まず頭に浮びます。このような物の準備ももちろんたいせつですが、それ以上に必要なことは、からだや心の準備です。就学の時期は、子どもによい習慣をつけるよいチャンスでもあるのです。

集団生活になれること

お友だちとよく遊ばせ、誰とでも仲良く遊べる子どもにしておきましょう。大人相手や、ひとりでばかり遊んでいる子どもは、とかく社会性に欠けています。

また、家庭で不用意に「そんなことをすると学校の先生に叱られますよ。」とか「先生にいいつけますよ。」ということばを口走ったりしないように注意しましょう。学校は楽しいところで、先生はやさしくお世話をしてくださる方として安心感を持たせることがたいせつです。

健康上の注意

入学しますと、急激に生活が変わり、子どもは相当疲れますので、なにより学校生活にたえる体力をつけておくことが必要です。予防注射、結核診断はもちろん、虫歯、トラコーマなど、悪いところは治しておきましょう。

しつけておきたいこと

(1) 身のまわりの始末ができるように

自分のことは自分でできるようにしつけておきましょう。

自分の着物の脱ぎ着がひとりでできる、ひとりで用便ができる、食事の前に手洗いをするというような基本的な生活習慣が身についていなければなりません。

鮫川小学校

高木洋子（勝美）
高木三喜夫（定典）
五十嵐伸一郎（大一）
鈴木文男（善久）
高木　正（正美）
橋本三代子（次男）
溝井昭次（チイ）
大池義厚（基義）
斉須和歌夫（寛）
小松照義（源方）
鈴木孝芳（芳男）
鈴木三千代（秀安）
生田目サダ子（公丸）
緑川芳子（鉄太郎）
青砥光江（光三）
鈴木信広（幸男）
水野ひろ子（成男）
石原文男（正人）
緑川弘美（昌美）
緑川　弘（利清）
円井松子（富宣）
渡辺重夫（健夫）
円井タケ子（幸男）
金沢広一（一）
鈴木英光（英亮）
水野文男（竹之助）
岡部愛子（千代喜）
矢吹美智子（隆）
金沢美紀子（正男）
金沢隆雄（関正）
矢吹道弘（一男）
矢吹文男（豊治）
芳賀より子（勝美）
生田目悟子（旭）
根本百合子（昭三）
斉藤幸伸（近）
田子一二（粂弥）
矢吹孝史（義照）
蛭田　勤（義男）



芳賀三津男（弥助）
窪木敏夫（敏郎）
芳賀英次（芳弥）
芳賀カヤ子（万治）
溝井幸子（信雄）
松永ミキ子（クニ）
三瓶　京（岩雄）
荒川純夫（忠）
関根久美子（初吉）
芳賀利美（己子寿）
柿沼末男（源二）
小林銀義（秋男）
根本鶴男（亀代次）
山本レイ子（悦男）
根本　忠（辰之助）
芳賀一郎（留一郎）
三瓶強（正司）
本郷隆（勝意）
関根　博（寅松）
溝井昭資（昭三）
鈴木富美男（春雄）
鈴木ひろ子（長一）
佐藤　博（一）
森京子（保）
森広行（重寿）
蛭田　豊（源市）
白坂照子（博）
渡辺ヨシ子（一美）
中川西洋子（博）
羽田義孝（善孝）
宗田文子（貞治）
宗田美之（忠夫）
前田宏明（照）
佐藤純子（和男）
高坂多喜子（卯平）
中川西幸子（春男）

富田小学校

中川西栄子（栄）
佐藤文雄（光治）
生田目悦子（一義）
鈴木佳子（正男）
高原幸子（泰治）
（計　八十二名）

渡辺光寿（寿）
生田目幸也（幸一）
岡部義明（義恵）
緑川里子（義春）
松本　正（栄一）
小田川和子（利雄）
松本　一（重忠）
松本美智子（源一）
小山田才八（忠右工門）
小山田三夫（忠一）
生田目孝行（富夫）
石井正男（政子）
坂本富子（春光）
青戸　洋（勝二郎）
鷲野谷敬子（敏男）
鈴木照夫（幸夫）
青戸徹夫（学男）
星　英資（欣作）
中川西富士雄（勇）
（計　十九名）

青生野小学校

矢吹雄二（由栄）
藤田稔（勘次郎）
吉成正富（四郎）
吉成正（義雄）
穴沢光明（卓二）
大森愛子（愛保）
大森ミヨ子（嘉治）
山形ヤイ子（武雄）

部未智子（栄）
本田弘幸（清）
堀川義孝（広二）
金田春夫（七五三明）
山形次男（久男）
大竹和子（保）
本田正男（啓作）
森田俊幸（俊策）
瀬谷由美子（政義）
蛭田綾子（代）平久江三郎
生田目明海（忠治）
笹島春男（正見）
中島成子（唯男）
加藤静子（信男）
星　紀子（俊一）
沢口　隆（三治）
石塚富茲（長男）
白石みさ子（重男）
棚井啓四郎（初吉）
鈴木秀一（元男）
緑川敬子（八雄）
（計　二十九名）

こどもの交通事故

（昭和37年）

	死亡	傷者	計
全体の事故	169人	2575人	2744人
こどもの事故(16才未満)	38人	573人	611人
全体にしめる割合	23%	22%	22%

(2) ことばのしつけ

自分の名前や住所がいえること。名前を呼ばれたら「ハイ」とはっきり返事ができるようにしつけておきましょう。幼児語しか使えない子には正しいことばを教えましょう。自分の思っていることをはっきりいえるように、お話しの訓練も大事なことです。

(3) 生活を規則正しく

学校に入っていきなり規則正しい生活になれさせることは無理です。起床、就寝、食事、おやつなどの時刻をきめて、規則正しく生活する習慣をつけておきたいものです。

(4) 交通訓練

交通事故の多い近ごろのことですから、通学コースにはとくに注意が必要です。もっとも安全な道順を選び、いつもその道を通るようにきめておきましょう。交通規則を教え、安全に通学できる練習をしましょう。

服装と持ち物

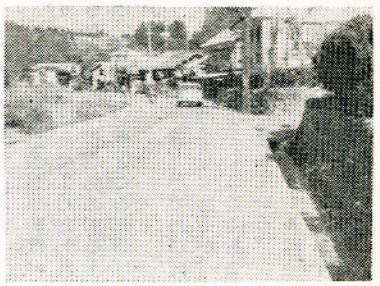
発育ざかりの子どもにきゅうくつな服装をさせることは感心しません。軽くて脱ぎ着のらくな、運動し易いものを着せましょう。高価なものより汚れても洗えるような材質のものがよいでしょう。靴は革靴でなく、ズックにした方が洗うこともできて便利です。

持ち物として最近はぜいたくなものも出まわっていますが、ランドセルなどは、体裁よりもじょうぶで軽いことがたいせつです。鉛筆は、軟かくて書き易いB程度のものが適当です。また持ち物には全部名前をつけておきましょう。

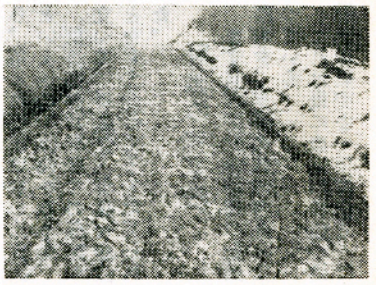
さいごに、勉強しておく必要があるかということですが、自分の名前の読み書きはできるように、といわれています。書けなければせめてよむことはできるように。

子どもの発達程度をみながら、興味を持って知りたがるものには、教えてやればよろしいでしょう。

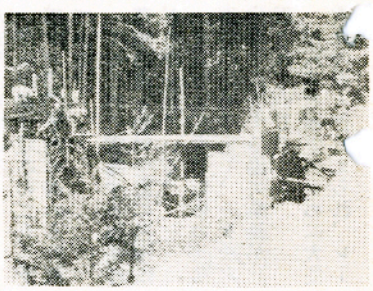




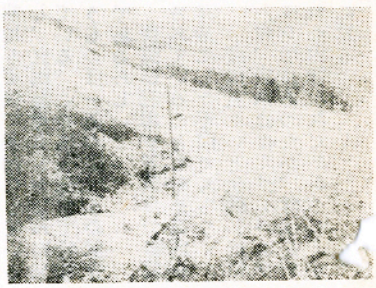
高校前から農業会館前まで立派な舗装道路ができた。延長工事が待ち遠い



田人村に通ずる開拓道路が三月には完成する。ハヌキから井出へ工事は進んだ



大録田橋の木橋とは別に落合川にかけられるコンクリート橋。これは林道工事で



戦後開けた中沢の開拓地にも電灯がともつた。電波にのつて文化はおとづれる

村の声み (41)

消防力の充実

村長　石田卯子八

暖冬という言葉が平常化した近年ですが、今年は雪の少ないわりに寒さがはげしく、零下一六・七というめずらしい朝もありました。

裏日本は豪雪に見舞われ、被害も大きいようですが、この地域では降水量が少ないため、道路の損傷なども軽くてすみそうです。

これからは空気も乾くし、風のある季節になりますから、火災や風邪ひきにはくれぐれも注意したいものです。

本村の消防力は昭和二十九年現在では、古い手引ガンリンポンプが二台で、あとは部落の手押しポンプがあるだけでしたが、本年度に国庫補助をうけ、ジープ型ポンプ自動車を購入し、前のと合せて二台となりました。

可搬式動力ポンプは一六台配備されているので、消防力の機械化近代化は急速に進んだわけです。

かつては村の片すみに起つた火災が、数日後に役場へ知らされるという時代もありましたが、今では農村公衆電話が各部落に出来たおかげで、通報後数分乃至十数分で、消防車がかけつけるようになりました。

今後は用水と道路とを整備すれば、この機械化された消防力は十分にその機能を発揮することができましょう。

各大字の可搬式ポンプに機動力をもたせることも結構ですが、いうなれば広域消防で通報機関を整備して、消防車の早期出動を図ることが、まず大切であると思います。

消防力が機械化されたとはいっても、つまりはことを運用する人の問題が重要で、団員の教養訓練は今後とも一層これを高める必要がありましょう。

青壮年人口が農村から減つていく現状からみて、団員の確保が困難となることも考えられますが、自分たちの郷土は自分たちが守らなければならず、広く郷土愛の精神に根ざした消防精神の涵養が望まれるのであります。

本村の火災はその原因がほとんど子供の弄火ということになつております。無邪気な年少者のことだけに、平素のしつけや火器の置場などに注意するとともに、早期発見、早期措置が大切であることは申すまでもありません。

消防施設の整備は、村として今後共努めなければなりませんが、この施設を使わないですませることこそ最良の策で、各人各所における「火の用心」という最も原始的で、最も平凡なことが、最も強い消防力といえるわけであります。

四月に統一地方選挙

これだけは知つておいて下さい…

今年は大へん多くの選挙が行なわれる年です。四月十七日には県の議会議員、四月三十日には村の議会議員、村長選挙、また七月には農業委員の選挙が行なわれます。

選挙の投票日は、それぞれの選挙管理委員会が法律で定められた範囲内で決めることになつています。

しかし、全国的にみてある時期に任期満了などによる選挙が集中的に行なわれるような場合には、選挙管理の円滑さと選挙機運の盛り上りをねらつて、特に法律を作つて選挙期日を定める場合があります。このような方法により、選挙期日が統一された選挙を「統一選挙」とよんでいます。

投票をするには

選挙権を持つためには、満二十才以上の日本国民であることが要求されますが、地方選挙の選挙権を持つためには、このほか原則として三ケ月以上引き続きこの村に住んでいることが必要です。

名簿もれに注意

また選挙権があるだけでは必ずしも投票することができません。投票をすることができるためには、選挙人名簿に名前がのる必要があります。昨年の十二月二十日までに満二十才に達した人は、基本選挙人名簿に登録されていますが、それ以後に満二十才に達した人は、それぞれの選挙の前に調整される補充選挙人名簿に登録されなければ投票はできません。この補充選挙人名簿は、申請により作られますので、選挙管理委員会の定める期間内に申請しなければなりません。

地方選挙と私たちのくらし

県や村の選挙は、国の選挙と比べて、私たちの住んでいる土地や日常生活により密接な関係をもつています。

学校、公民館など教育文化施設の充実、道路、橋梁など建設整備、公営住宅、病院、診療所、そのほか地域開発の問題など、どれをとつても私たちの生活と政治が直接結びついている問題ばかりです。

このような問題を解決し、住民の利益としあわせをはかるのが知事や村長であり、議会議員であるわけです。このような人たちを選ぶのが地方選挙ですから、日先の利益や義理、情実で選挙することがいかにおろかなことがわかります。

けがれない選挙を

ところが、現実に行なわれている選挙は、まだまだ金や義理や情実にケガされている例が多く見うけられます。

地方選挙は地方自治の基盤であり、地方自治は民主政治の基盤であるといわれます。

私たちの郷土を明るく住みよい社会にするために、皆さんの良識ある判断によつて、けがれのない選挙を行ないましょう。

（鮫川村選挙管理委員会）

告知版

⊙選管委員長選ばる

二月八日の委員会にて須藤英一氏が選挙されました。

⊙公明選挙の推進

三月六日に委員会を開き四月に行なわれる統一地方選挙を公明にするために、チラシの配布、広告塔の設置、広報車による宣伝、各区ごとの座談会開催等の運動を展開することになりました。

⊙小児マヒの防止 生ワクチンの投与

生後三ヶ月より中学二年までの幼児と児童に次の日程で行ないますので、該当者はもれなく投与を受けて下さい。

三月五日（西野公民館）
〃六日（西山〃）
〃七日（鮫川小学校）
〃八日（鮫小戸草分校）
〃九日（鮫小東野分校）
〃十一日（富田小学校）
〃十二日（渡瀬〃）
〃十三日（青生野小学校）

⊙国民年金の表彰

二月末日までの実績により納付成績の優良な組合（約六〇）が、三月中に開かれる各区総会で表彰されます。

⊙小中学校の入学式

四月四日午前十時より村内の各小中学校で一斉に行なわれるが、本年度の入学生は小学生二三二人、中学生二五〇人（他に浅川中へ二五人）です。

⊙学校給食の準備すすむ

学童の健康維持と体位向上のため、各校ともPTAが中心になつて、学校給食の問題がとりあげられているが、多額の費用がともなう割合に補助金が少ないので、実施については問題点が多いが、地教委では全校の早期実施は困難だが、財政の許す範囲内で、準備の整つた学校から逐次実施してゆきたいと話しています。

今年は西山小・西野小が完全給食を予定され、富田小では新年度からミルクだけの給食をしたいと準備が進められています。

おめでた

十二月
一八日　下木之内ヤスヨ

一月
二二日押日北条喜浩
二五日酒垂石井照子
二五日岨長北条喜子
二七日前沼坂本光男
三一日大戸中小松良子
五日火打石佐藤幸子
六日戸草関根昭弘
六日福原金沢寿
八日新宿稲垣睦美
一〇日大根屋敷佐久間洋一
一一日大塩矢吹正生
一三日前田金沢智子
一八日酒垂石井幸一
二五日摺合芳賀元子
二六日本坂円谷恵子
三一日青生野森田末子

おくやみ

一月
二日蛭ケ沢石井辰太郎
五日官代宗田ナヲ
一三日前田金沢智子
一三日戸倉関根友安
一三日大房吉田サキ
一五日青生野新妻節子
一六日新宿石井政市郎
一七日馬生田鍋木トミ
二五日反田松本源四郎
二六日福原高橋茂八郎
三〇日戸草藤田長二

構造改善を見る

双葉郡川内村 (三)

地区の設定

この村の構造改善事業はパイロット地区として行なわれるので、村の中北部にある上川内地区というところが選ばれている。

農家戸数一五九戸でわが村の一大字位の規模であるか、役場、農協などもここにあつて村の中心をなしている。

耕地一三二ヘクタールは一団地になつており、しかも平坦である。標高は四二〇—四五〇mでほとんど中野区と同じである。

山村の例にもれず地域農家の経済をまかなつてきた林産物—木炭の生産減から来る所得の転換を如何にするかが、重大な課題になつている。

この村は山林の大部分を公有林として村がもつているから、個々の農家はむしろ貧困といえるのではなかろうか。

構造改善計画はこの現実に立つて、将来性と実施可能性とを考え合せてうちたてられた。

計画の骨ぐみ

まず基本方針を酪農の振興におき、基幹作目は市乳となつている。

これは既に農協酪農部が指導集荷販売を一手に引きうけて、ミルクプラントをもち、集乳、加工、出荷に至る事業をすべて経営しているので、酪農主産地形成をうち出しても無理がないものと考えられる。

乳牛は一戸平均六～八頭飼育を目さし、飼料の自給率を八五%としている。

農家所得は現在の二九八千円を六〇〇千円に高める計画である。

このために実施する事業は草地造成と飼料生産の機械化があげられている。

また多頭飼育のための共同畜舎が建つ予定で、一ケ所六〇頭を飼育する協業酪農が計画されている。

飼料基盤確立のために大型機械の導入が考えられ、レーキドーザー、ホイルトラクター、クローラートラクターが設置される。

関連として田の区画整理があるが、これは一〇ヘクタールで、一区画一反歩である。

むすび

この村は山村ではあるが、耕地が平坦で集団化しているし、区画整理もおおむね出来ている。この構造改善で行なうものは一部の山づきの部分であるらしい。

農協が利用事業重点で経営されていることも事業実施を容易にした要因であろう。

一度は見たいと念願した川内村、計画はまだペーパープランではあつたが、学ばせられた内容は真だ多かつたように思う。

ひとこと

◎四年目ごとにやつてくる地方選挙が近くなつてきました。

政治などは私たちとエンのとおいものと考えられますが、おらが村の村長さんや議員さんを選ぶ選挙ともなると真剣に考えることも当然でしよう。

◎たがあまり熱をいれすぎて「勝つためには手段を選ばず」ということになると、終つて冷静になつてから馬鹿なことをしたもんだ、と後悔するようになります。

◎選挙法のルールはかたく守り、候補者は村を良くするための現実的な政策を訴え（実現できない公約はしないこと）、選挙民も身ぢかな生活環境を良くしてゆくためには、どういうことが大切かを考えながら選挙が行なわれてこそ、正しい選挙と言えるのではないでしようか。

中井君 福島テレビに

森林組合に勤務するかたわら、郷土史家として本紙上に郷土の伝説を寄稿して下さつた中井君が、このほど四月から放送を開始する福島テレビに入社しましたが、創作的な郷土の伝説は、ひきつづき寄稿して下さることになりました。同君の今後の活躍を期待するとともに、本紙に寄せる御厚意に感謝いたします。

（今月は紙面の都合により休みます）

あとがき

▽早春とはいえ、まだまだ寒い昨今ですが例年にない寒波で、凍りついた池や沼もユルみ始め、山の木々の芽もふくらみ新しい春の訪れを告げています。

▽小さな胸に希望をふくらませながら小学校に入学する子供たち二三二人、この子たちの前途には立派な社会人となるための、学問を身につける仕事が待つています。きびしい自然の猛威のなかで育ちゆく山の杉の子のように、たくましい身心が作られてゆくのを温い目で見まもつてゆきましよう。

▼皆さんのための広報にと編集子は常に心がけていますが、他の仕事に追われて思うようにゆきません。皆さん方の御叱正をお待ちします。御意見、御希望をどしどしお寄せ下さい。